

学年・教科・担当	2年・美術・宮野 篤子
----------	-------------

学期	月	学習内容	学習のねらい
1	4	*オリエンテーション *生活の中の美術	○一年間の学習内容を理解する。 ○美をつくり出そうとする人間の心、美の多様性や永続性などについて考えを深める。 ○自分の計画(下書き)をもとにして着色をする。 ○目の錯覚などを利用した作品の鑑賞を通して、ユーモアや意外性のある表現に関心をもたせる。 ○生活の中の錯覚を利用したものに興味関心を高める。 ○鑑賞を通して、ユーモアや意外性のある表現に関心を持たせ、形や色彩を効果的に使った仕掛けを発想する。 ○斜方眼紙を使い、立体感のある面白い構成を考える。 ○色彩の知識を生かし、グラデーションを使うことで、心地よく感じる色使いをする。 ○作品の発表・鑑賞を通し、表現の違いを認識する。
	5	*等角投影図(下書き) *鑑賞「不思議絵」 「エッシャー、アルチンボルト他」	
	6	*等角投影図(着色)	
	7		
2	9	*鑑賞「ゴッホ」 *粘土作品	○作者の作品や生涯を知り、自分の考えをまとめる。 ○動物の動きをよく観察し、粘土で表現する。 ○可塑性のある石粉粘土を使い、立体的に対象をとらえ、粘土をつけたり、削ったりしながら、造形活動を楽しむ。 ○技法を身に付け、作品に活用し立体感と奥行きある作品を考える。
	10		
	11		
	12	*遠近法	
3	1		
	2		
	3		

評価について	
評価の観点	評価の方法
①知識・技能 ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	作品、テスト、ワークシート、アイデアスケッチなど
②思考・判断・表現 ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	作品、テスト、ワークシート、アイデアスケッチ、鑑賞プリントなど
③主体的に学習に取り組む態度 ・美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。	作品への取り組み状況 鑑賞プリントへの取り組み状況 課題の提出状況

